SONY®

チェンジャーコントロール
オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WX-C570

 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら





❶ **安全な場所に車を止める**
❷ **電源を切る**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号





行為を禁止する記号





目次




火災

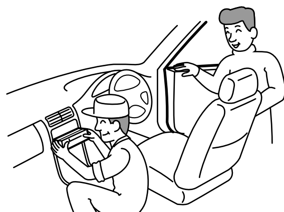

感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

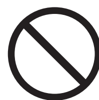
本機の取り付けには専門知識が必要です。

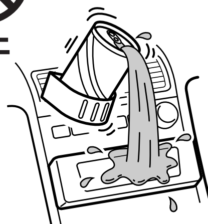
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

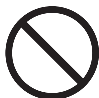
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

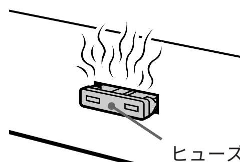

禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。


禁止

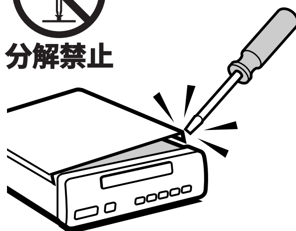


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。







下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

運転前に動作点検をする

走行中に本機の故障に気付くと、事故やけがの原因となることがあります。運転する前に、本機が正しく動くことを確認してください。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。





はじめに

本機では、CDとカセットテープ、ラジオを聞くことができます。別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- CD／MD**チェンジャー（それぞれ最大２台まで接続できます）**
- **ロータリーコマンダー**

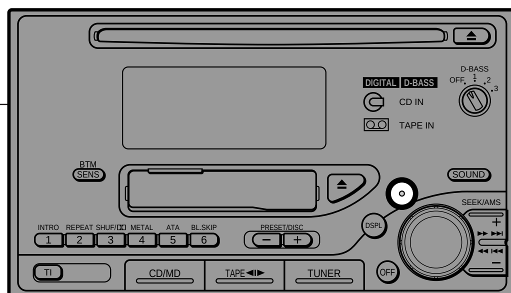
  お手元で簡単に操作することができます。

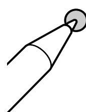
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りの機器を接続した場合の操作方法についても説明しています（22〜25ページ）。

TEL/NAVIミュート機能

本機は、電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに本機からのスピーカーの音量を自動的に下げます。ただし、ミュート出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

まず、本機をリセットする



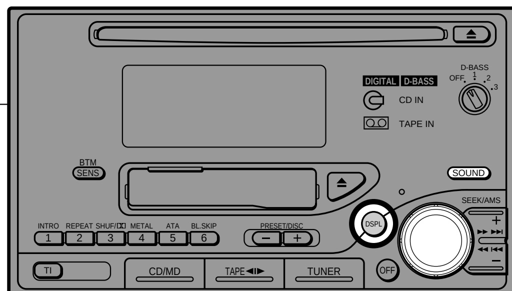


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻や登録させた放送局がすべて消えますので、登録し直してください。

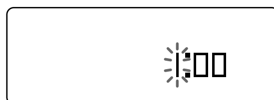
時計を合わせる

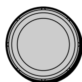


1 車のキーをONにする。



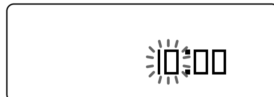
2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。





❶ ダイヤルを回して、「時」を合わせる。

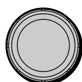
（時計は12時間表示）





❷「時」を合わせたら、SOUNDボタンを押す。





❸ ダイヤルを回して、「分」を合わせる。



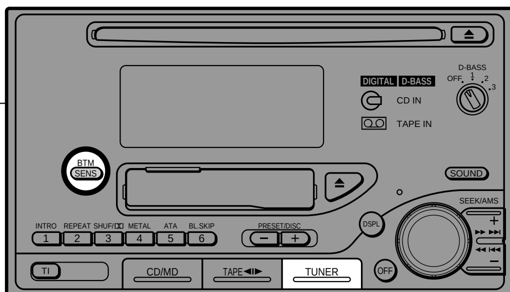


3 DSPLボタンを押す。

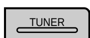
ご注意

パワーセレクトスイッチを🅑にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、TUNERボタンを押してラジオをつけます。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1〜6ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ12局ずつ登録できます。テレビ放送（1〜3チャンネル）は、FM90.0MHzの次にあります。



1 TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すたびに次のように換わります。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2 —



2 SENS/BTMボタンを2秒以上押す。

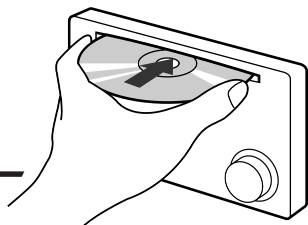
「PRESET」が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

ご注意

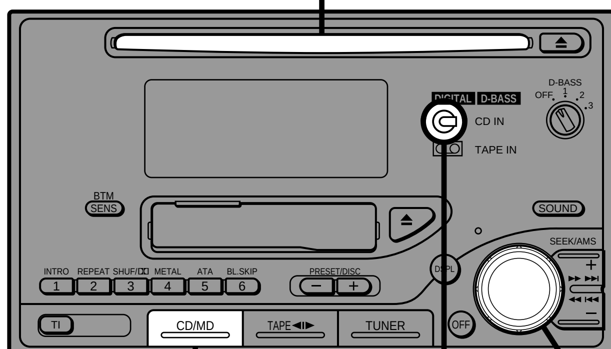
- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります

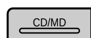


レーベル面を上にして入れます。



CDが入っているときに押すと再生が始まる

シーディー／エムディー
（CD／MDボタン）



ディスクが入っているときに表示する

ラジオ受信のときなどでも表示します。

音量を調節する

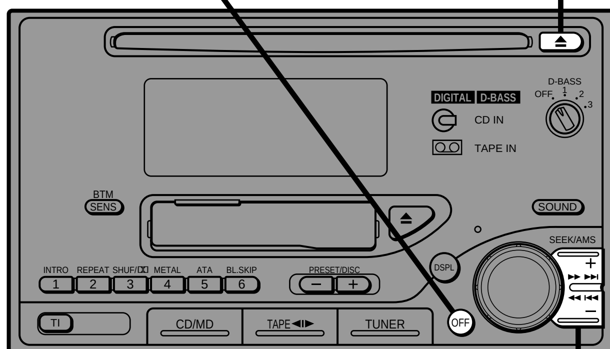
8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターなしで再生することができます。
8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

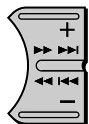
次のページへつづく

止める／電源を切る
（OFF〔オフ〕ボタン）

CDを取り出す＊
（⏏〔イジェクト〕ボタン）



聞きたいところを探す
（SEEK/AMS〔シーク／エーエムエス〕ボタン）

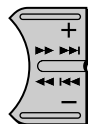


先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところで離します。

曲の頭出しをする
（SEEK/AMS〔シーク／エーエムエス〕ボタン）



次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します。

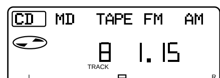
＊セルフストア機能

⏏を押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込んだままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります。

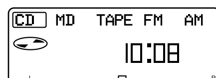
表示の見かた（DSPLボタン）

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

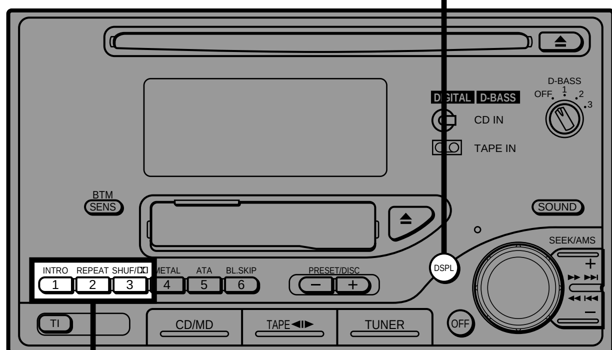








トラック番号／再生経過時間　　時計



数字ボタンを押すと



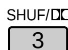
各曲の頭を10秒ずつ再生する（INTROボタン）

もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。



今の曲を繰り返し再生する（REPEATボタン）

もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。

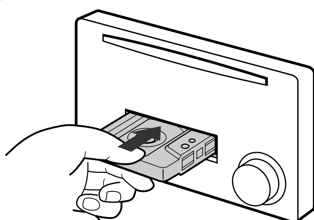


再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する（SHUF/ボタン）

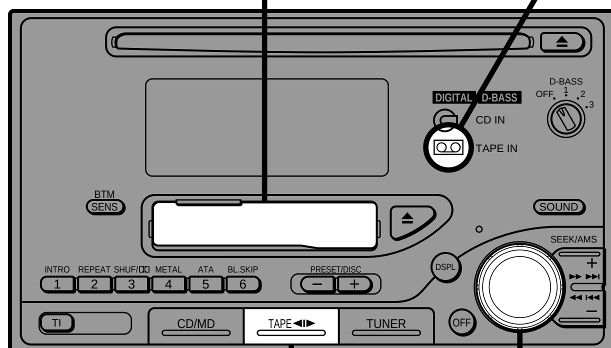
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。

テープを聞く

テープを入れると再生が始まります



テープが入っているとき表示される

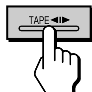


音量を調節する

テープが入っているときに押すと再生が始まる

（TAPEボタン）

再生中に押すと、テープの面が切り換わります。





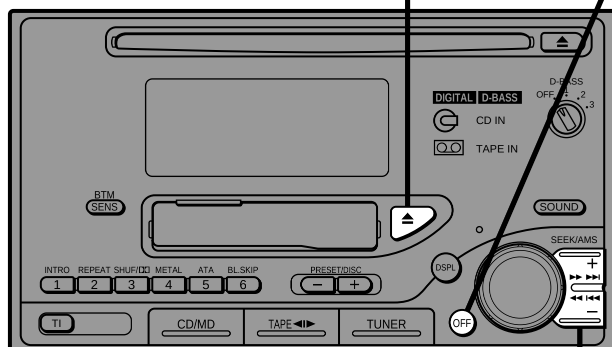
上面を再生



下面を再生

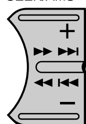
テープを取り出す
（イジェクト ⏏ボタン）

止める／電源を切る
（オフ OFFボタン）



巻戻し・早送りをする

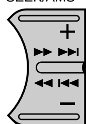
（シーク／エーエムエス SEEK/AMSボタン）



押し続けると、巻戻し・早送りします。途中で再生を始めるには、TAPEボタンを押します。

曲の頭出しをする

（シーク／エーエムエス SEEK/AMSボタン）

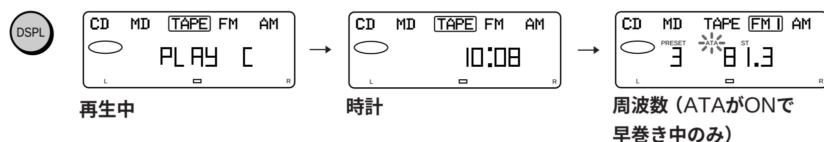


とばしたい曲の数だけ押します（最大９曲まで）。

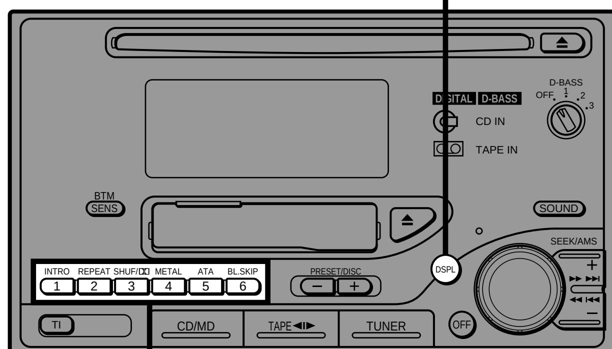
次のページへつづく

表示の見かた（DSPLボタン）

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



再生中 → 時計 → 周波数（ATAがONで早巻き中のみ）



数字ボタンを押すと

INTRO 1 **各曲の頭を10秒ずつ再生する**（INTROボタン）
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。

REPEAT 2 **今の曲を繰り返し再生する**（REPEATボタン）
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。

SHUF/□□ 3 **ドルビー*B NRで録音したテープを再生する**（SHUF/□□ボタン）
もう1度押すと、解除します。

METAL 4 **メタルテープを再生する**（METALボタン）
もう1度押すと、解除します。

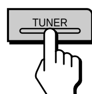
ATA 5 **早巻き中はラジオに切り換わる**（ATAボタン）
もう1度押すと、解除します。

BL.SKIP 6 **8秒以上の空白を早送りする**（BL.SKIPボタン）
もう1度押すと、解除します。

＊ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号□□はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

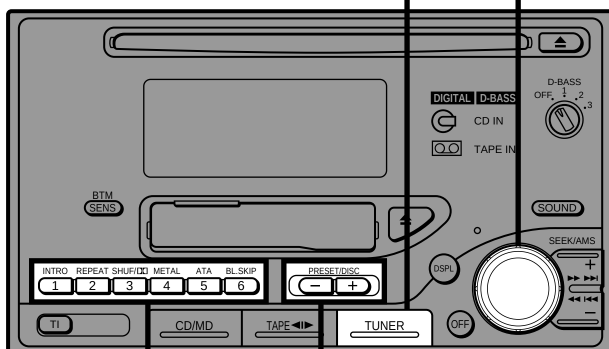
ラジオを聞く

1 聞きたいバンドに切り換える



押すたびにFM1→FM2→AM1→AM2と切り換わります。

音量を調節する



2 聞きたい放送局のボタンを押す（放送局を登録してあるとき）



登録のしかたについては、8ページ参照。

登録した局を順に受信する

（プリセット／ディスク PRESET/DISCボタン）

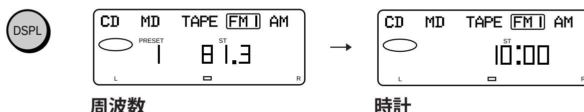


次のページへつづく

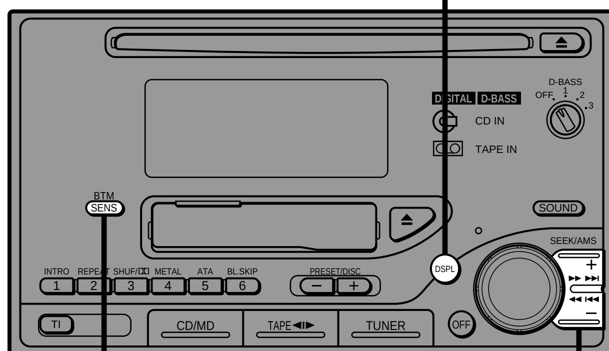
ラジオを聞く（つづき）

表示の見かた (DSPL（ディスプレイ）ボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



周波数　　　時計



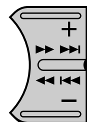
ステレオ放送が聞きにくいとき
(SENS/BTM（センシティビティ／ビーティーエム）ボタン)

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SENS/BTMボタンを押して「MONO」に切り換えます。音はモノラルになりますが、聞きやすくなります。

旅先などで、プリセットした局が受からないとき（自動選局を使う）

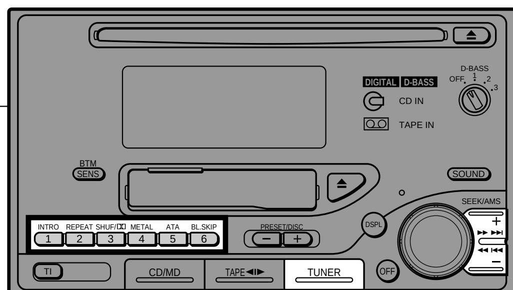
SEEK/AMSボタンを押します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを繰り返し押します。

SEEK/AMS

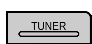


- 聞きたい局の周波数が分かっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SENS/BTMボタンを押して「LOCAL」に切り換えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

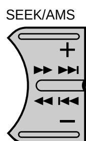
特定の放送局を登録する



放送局を自動登録（8ページ）したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。



1 TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

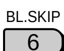


2 SEEK/AMSボタンを押して、登録する放送局を受信する。



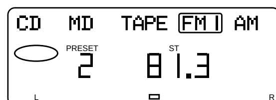


〜



3 登録したい数字ボタンを番号が表示されるまで押す。

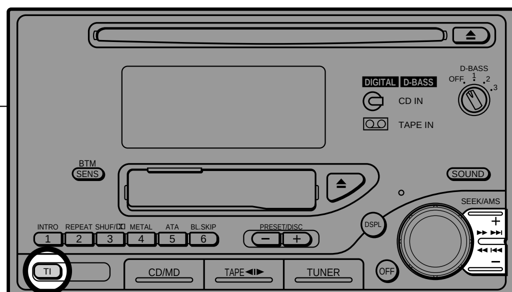
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

道路交通情報を聞く



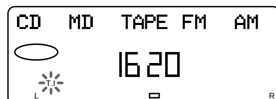
トラフィック インフォメーション

道路交通情報（AM 1,620 kHzまたは1,629 kHz）を聞くことができます。

TI

TIボタンを押す。

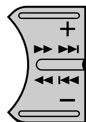
放送があれば交通情報を流します。



もう一度押すと元のモードに戻ります。

周波数を選ぶ

SEEK/AMS



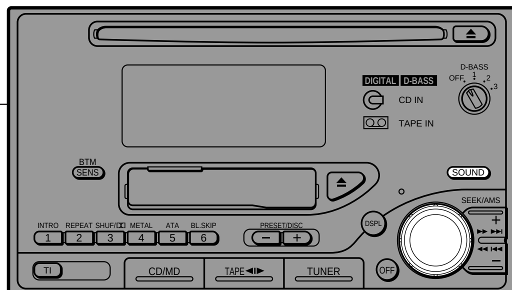
押すたびに周波数が切り替わります。

AM 1,620 kHz ⟷ 1,629 kHz

ご注意

地域によって周波数が異なります。適切な周波数に切りかえてください。

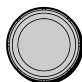
音質や音のバランスを調節する



SOUND

1 SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。

VOL（音量）→ BASS（低音）→ TRE（高音）→ BAL（左右のスピーカーバランス）→ FAD（前後のスピーカーバランス）→ VOL（音量）

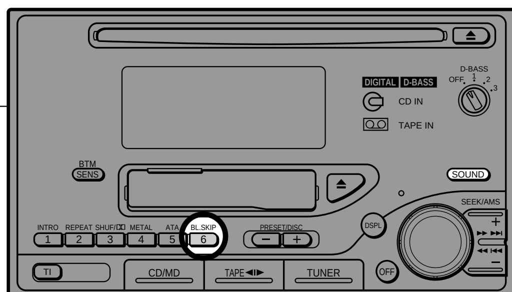


2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒過ぎると音量調節（VOL）に戻ります。

BAS, TRE	BAL	FAD
下がる	右が下がる	前が下がる
↕	↕	↕
上がる	左が下がる	後ろが下がる

操作時のビープ音を入/切する



操作ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切できます。

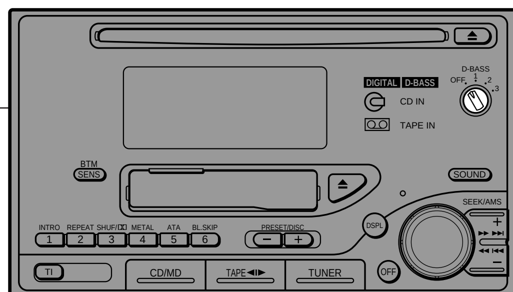


SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

BL.SKIP
6

押すたびに切り換わります。

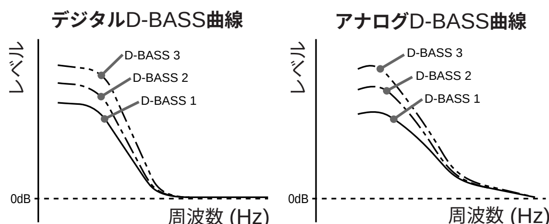
重低音を強調する



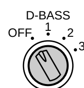
D-BASS

D-BASS機能（ダイナミックベース）は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。さらにデジタルD-BASS*では、独自のICを採用し、アナログD-BASSを超えた迫力ある重低音で再生します。

＊ デジタルD-BASSは本機やデジタルD-BASS対応チェンジャーのCD再生時に働きます。また、ラジオ受信時やテープ再生時、対応していないチェンジャー内のCD再生時は、アナログD-BASSで再生します。



D-BASSつまみで低音を調節する



１〜３に合わせます。数字が大きいほど低音が強調されます。

ディスプレイでの表示

DIGITAL **D-BASS** → 本機またはデジタルD-BASS対応CDチェンジャー再生時

D-BASS → ラジオ受信時またはテープ再生時、デジタルD-BASS対応でないチェンジャーのCD再生時

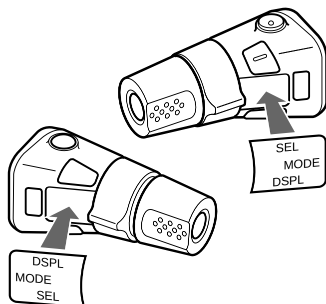
通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

アナログD-BASSでお使いの場合、音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

ロータリーコマンダーの操作

ロータリーコマンダーのシールについて

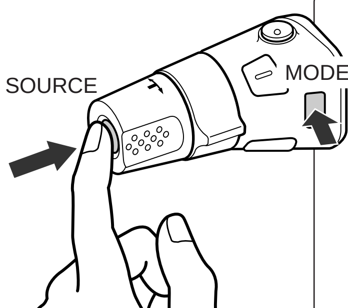


本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X2S)を接続することができます。
ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが6枚付属されています。ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

ロータリーコマンダーの操作

この機能は別売りRM-X2Sを使用してください。CD/MDチェンジャーは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

押すと (SOURCEボタン、MODEボタン)



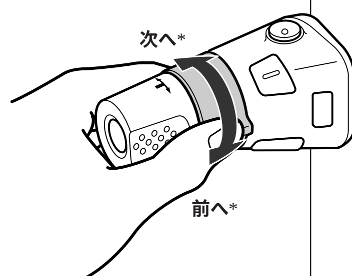
SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER→CD→MD→TAPEと切り換わる
ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

MODEボタンを押すと

TUNERの時:FM1→FM2→AM1→AM2→…
CDの時:CD1→CD2→…
MDの時:MD1→MD2→…
TAPEの時:→PLAY ◁(上面)→PLAY ▷(下面)→…
と切り換わる

回すと (SEEK/AMSつまみ)



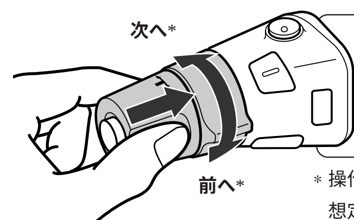
CD/MD... **短く回して離すと**曲の頭出しをする
回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

テープ.....短く回して離すと曲の頭出しをする
回しつづけると早く送られ、途中で再生に戻すにはMODEボタンを押す

ラジオ.....短く回して離すと自動的に放送局を受信する
回しつづけると特定の周波数を受信する

＊操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したとの使用を想定した方向になっています。

押しながら回すと（PRESET/DISC（プリセット/ディスク）つまみ）



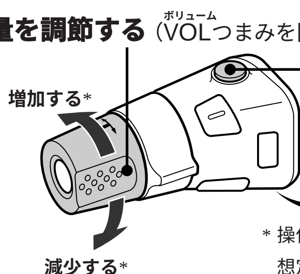
CD/MD...チェンジャー内のディスクを切り換える

ラジオ...プリセットした放送局を順に受信する

＊操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したとの使用を想定した方向になっています。

その他の操作

音量を調節する（VOL（ボリューム）つまみを回す）



音を瞬時に消す（MUTE（ミュート）ボタンを押す）

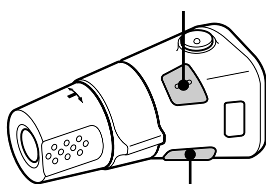


電源を切る（OFF（オフ）ボタンを押す）

＊操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

音量調節・音質選択する（SEL（セレクト）ボタンを押す）

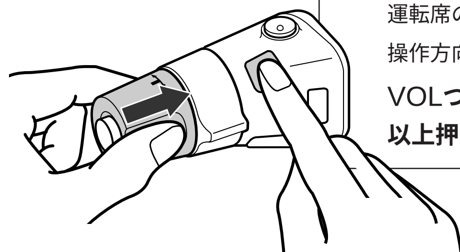
本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。



表示モードを切り替える（DSPL（ディスプレイ）ボタンを押す）

本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



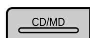
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOL**つまみを押しながら、**SEL**ボタンを**2**秒以上押す**

CD/MD

別売りのCD/MD機器をつないで、CDやMD（ミニディスク）を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

CD/MDを聞く



再生中にCD/MDボタンを押して、聞きたいCD/MD機器に切り換える。

CDの場合



全てのディスクを順に再生します。

MDの場合



全てのディスクを順に再生します。

聞きたいディスクを探す

探しかた	押すボタン
ディスクの頭出しをする	再生中にPRESET/DISCボタン  **前のディスクへ**  **先のディスクへ** 押した回数だけ前または先のディスクの頭出しをします。

リピート

繰り返し聞く

- 「REP 1」→再生中の曲を繰り返す。
- 「REP 2」→再生中のディスクを繰り返す。
- 「REP 3」→再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。

REPEAT
2

再生中にREPEAT**ボタンを押して聞きたい設定に切り換える。**

→REP 1 → REP 2 → REP 3 → REP off (**表示なし**)

リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには「REP off」を選びます。

シャッフル

曲順を変えて聞く

- 「SHUF 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「SHUF 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「SHUF 3」→ 全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF/◘◘
3

再生中にSHUF**ボタンを押して聞きたい設定に切り換える。**

→SHUF 1 → SHUF 2 → SHUF 3 → SHUF off (**表示なし**)

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには「SHUF off」を選びます。

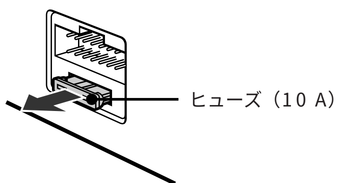
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



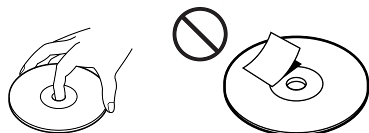
結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申しつけください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



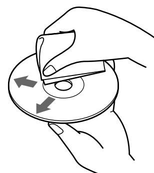
記録面に触れないように持つ。

ディスクに紙など貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると取り出せなくなったり故障する原因となることがあります。

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよくない、音が出ないというようなことがおこります。1か月に一度ぐらいの割合で、別売りのソニークリーニングカセットCHK-1またはC-1KNを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

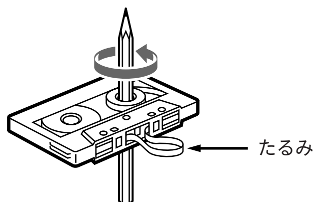
良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。
ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



カセットについて

- テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- 古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- 次の場所には絶対に置かないでください。
  - 直射日光が当たるところなど高温の場所(特に夏季)
  - 湿度の高いところ
- テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



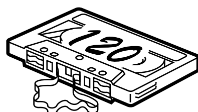
付録

次のページへつづく

使用上のご注意（つづき）

- 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。

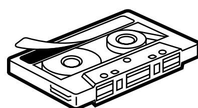






- 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。

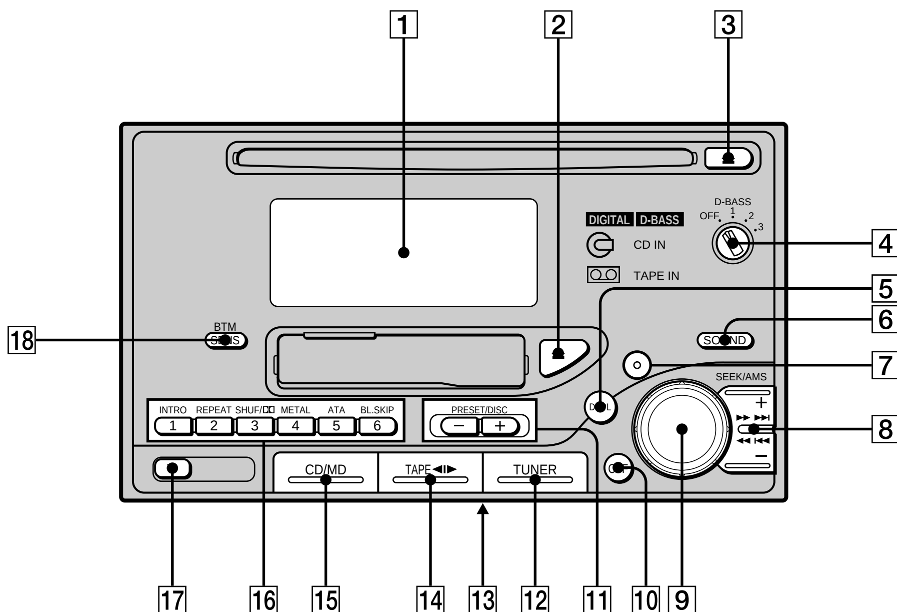




- 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

各部のなまえ

●内のページにくわしい説明があります。



1 表示窓

イジェクト
2 ⏏（カセット取り出し）ボタン ⓭

イジェクト
3 ⏏（CD取り出し）ボタン ❿

ダイナミックベース
4 D-BASS（重低音調整）つまみ ㉑

ディスプレイ
5 DSPL（表示切り換え）ボタン ❼⓫⓮⓰

サウンド
6 SOUND（音質調整）ボタン ❼⓳⓴

7 リセットボタン ❻

シーク／エーエムエス
8 SEEK/AMS（頭出し／ラジオ選局）ボタン ❿⓭⓰⓱⓲

ボリューム /バス /トレブル /バランス /フェーダー
9 VOL/BASS/TRE/BAL/FAD（音量／音質調整）ダイヤル ❼❾⓬⓯⓳

オフ
10 OFF（電源切り）ボタン ❿⓭

プリセット／ディスク
11 PRESET/DISCボタン

ラジオ ⓯

CD/MD ㉔

チューナー
12 TUNER（バンド切り換え）ボタン ❽⓯⓱

13 パワーセレクトスイッチ（底面）

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

テープ
14 TAPE ◀▮▶（テープ再生、再生面切り換え）ボタン ⓬

シーディー/エムディー
15 CD/MD（CD再生、チェンジャー選択）ボタン ❾㉔

16 数字ボタン1〜6

テープ ⓮

ラジオ ❽⓯⓱

CD/MD ⓫㉕

ティーアイ
17 TI（交通情報）ボタン ⓲

センシティビティ/ビーティーエム
18 SENS/BTM（感度切り換え／ベストチューニングメモリー）ボタン ❽⓰

付録

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない	• 音量を上げてください。 • スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	電源を切ったときに時計が表示されない	本機底面のパワーセレクトスイッチが❸側に設定されているときは、時計は表示されません。
	メモリーの内容が消えてしまった。	• リセットボタンを押した。 • 動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。 • 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	•「ピッ」という音が出ない設定になっている（20ページ）。
カセットプレーヤー	カセットが入らない	カセットを正しい向きにして入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる	•「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる	• ヘッドが汚れている。別売りのソニークリーニングカセット（CHK-1またはC-1KN）を使ってクリーニングしてください。 • ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNRを切ってください。
	頭出しができない	• 曲間のあきが短すぎる。録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。 • 曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
	曲の途中で再生が始まる	曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。 • 再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 • 無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNR Bに切り換えてください。

	症状	原因・処置
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない	• カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT REM（青）コードに接続してください。 • 周波数を確認してください。
ラジオ	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない	•「LOCAL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。SENS/BTMボタンを押して表示を消してください。 • 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつづけて周波数を合わせてください。
CD/MD	音がとぶ、音が途切れる、 音が割れる	• CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。
CD/MD	音が出ない、音が小さい	• スピーカーとの接続を確認してください。

CD/MDのエラー表示

CDやCD/MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E- 01	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
E- 02	チェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
E- 04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
E- 99	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

付録

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	88dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル（ステレオ）
ワウフラッター	0.08%（WRMS）以下
周波数特性	30～20,000Hz
再生SN比（JIS A）	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	65dB	55dB
TYPE II、III、IV	67dB	58dB

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz（テレビ1～3ch）
中間周波数	10.7MHz
実用感度	12dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度（IHF）	18dBf
実効選択度	75dB（400kHz）
SN比	65dB（ステレオ） 70dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）	0.5%（ステレオ） 0.3%（モノラル）
ステレオセパレーション	35dB以上（1kHz）
キャプチュアレシオ	4dB

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4～8Ω
最大出力	35W×4（4Ω負荷1kHz）

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
出力端子	アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ミュート入力端子（携帯電話・ナビ用）
本体寸法	約178×100×173mm（幅／高さ／奥行き）
取付寸法	約178×100×155mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約2.1kg
付属品	取り付け/接続部品（一式） 取扱説明書（一式） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）
別売品	CDチェンジャー CDX-705（10枚）、 CDX-T62（6枚） MDチェンジャー MDX-61 ロータリーコマンダー RM-X2S ソースセレクター XA-C30 バスケーブル（RCAピンコード付属） RC-61（1m）、 RC-62（2m） RCAピンコード RC-63（1m）、 RC-64（2m）RC-65（5m） CDクリーニングキット CDM-3K クリーニングカセット CHK-1、C-1KN

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

Sony Corporation　Printed in Japan

*I-3-859-834-0

(1)